

2 級 模 擬 問 題 ②

(第3問での出題を想定)

次の資料に基づいて、連結損益計算書および連結貸借対照表を作成しなさい。

(決算年1回 3月31日)

1. X2年3月31日の個別財務諸表

損 益 計 算 書

(単位：円)

費 用	P 社	S 社	収 益	P 社	S 社
売 上 原 価	54,000	35,640	売 上 高	90,000	54,000
販 売 費	4,800	3,660	受 取 利 息	540	—
貸倒引当金繰入	1,140	720	受 取 配 当 金	1,200	—
一 般 管 理 費	7,380	6,480	固 定 資 産 売 却 益	—	4,500
減 価 償 却 費	5,160	3,240			
支 払 利 息	960	720			
法 人 税 等	7,200	3,240			
当 期 純 利 益	11,100	4,800			
	91,740	58,500		91,740	58,500

貸 借 対 照 表

(単位：円)

資 産	P 社	S 社	負 債 ・ 純 資 産	P 社	S 社
現 金 預 金	16,800	9,240	支 払 手 形	17,100	9,240
受 取 手 形	36,000	13,500	買 掛 金	21,000	9,360
売 掛 金	27,000	22,500	借 入 金	24,000	18,000
商 品	7,200	5,040	未 払 法 人 税 等	7,200	3,240
貸 付 金	16,200	—	未 払 費 用	270	180
未 収 収 益	240	—	貸 倒 引 当 金	1,140	720
建 物	57,600	36,000	減 価 償 却 累 計 額	11,610	19,440
土 地	24,000	11,700	資 本 金	90,000	27,000
S 社 株 式	28,200	—	利 益 剰 余 金	40,920	10,800
	213,240	97,980		213,240	97,980

2. P社はX1年3月31日にS社株式の80%を¥28,200で取得した。S社のX1年3月31日現在の資本状況は、資本金¥27,000、利益剰余金¥7,500であった。

3. のれんは、20年の定額法によって償却を行う。

4. S社は、X1年6月25日に配当¥1,500を行っている。

5. S社はP社から商品の一部を仕入れている。P社の売上高のうち¥18,000はS社に対するものであった。

6. S社の支払手形のうち¥1,800、買掛金のうち¥4,200は、P社に対するものである。ただし、P社はS社に対する債権には、貸倒引当てをしていない。

7. S社の商品棚卸高に含まれるP社からの仕入分は次のとおりである。

期末商品棚卸高 ¥4,050

なお、P社では每期40%の売上利益率で販売している。

解 答

連結損益計算書

P 社	自x1年4月1日	至x2年3月31日	(単位：円)
売上原価	(73,260)	売上高	(126,000)
販売費	(8,460)	受取利息	(540)
貸倒引当金繰入	(1,860)	(固定資産売却益)	(4,500)
一般管理費	(13,860)	()	()
減価償却費	(8,400)		
(のれん償却)	(30)		
支払利息	(1,680)		
法人税等	(10,440)		
当期純利益	(13,050)		
	(131,040)		(131,040)
(非支配株主に帰属する当期純利益)	(960)	当期純利益	(13,050)
(親会社株主に帰属する当期純利益)	(12,090)		
	(13,050)		(13,050)

連結貸借対照表

P 社	x2年3月31日現在	(単位：円)	
現金預金	(26,040)	支払手形	(24,540)
受取手形	(47,700)	買掛金	(26,160)
売掛金	(45,300)	借入金	(42,000)
商品	(10,620)	未払法人税等	(10,440)
貸付金	(16,200)	未払費用	(450)
未収収益	(240)	貸倒引当金	(1,860)
建物	(93,600)	減価償却累計額	(31,050)
土地	(35,700)	資本金	(90,000)
(のれん)	(570)	利益剰余金	(41,910)
	(275,970)	(非支配株主持分)	(7,560)
	(275,970)		(275,970)

当模擬問題は「連結会計」ですが、2級における連結会計の出題開始時期は、2017年11月検定以降とすることが公表されています。